



序章 本稿の叙述と構成（第二部：第三編 学校法人日本体育会経営高等学校の沿革）

著者	日本体育会百年史編纂委員会
雑誌名	学校法人日本体育会百年史
ページ	1121-1123
発行年	1991-10-28
URL	http://id.nii.ac.jp/1444/00001090/

第三編

学校法人日本体育会経営高等学校の沿革

序章 本稿の叙述と構成

学校法人日本体育会の傘下にある高等学校は、現在、四校を数える。そこでここではそれらの高等学校が開校する経緯についてまずもって点描し、次いで本稿各章の構成について触れておくことにしたい。

学校法人日本体育会の中等学校の維持・経営は本会の前身である社団法人日本体育会時代にまで遡る。本会は明治三十七年四月、日本体育会体操学校の東京府荏原郡大井村への移転を機会に、荏原中学校を設立して体操学校以外の学校経営に乗り出しているからである。次いで昭和十五年四月に夜間課程の荏原第二中学校を設置したが、同十九年三月に中等学校令の改正にもなつて荏原中学校二部（夜間部）として荏原中学校に吸収・合併させている。敗戦後、本会是新制中学校・新制高等学校の新設と旧制中学校の廃校を行っている。その一つは新制の荏原中学校と荏原高等学校の設置に伴う、旧制中学校の廃校であつたし、他の一つは新制の常陽中学校・高等学校の設置と廃校であつた。前者の経緯について眺めてみると、まず昭和二十一年三月三十一日付けをもつて旧制荏原第二中学校（夜間部）を廃校、二十二年四月に新制荏原中学校を、翌二十三年四月に新制荏原高等学校をそれぞれ新設して、二十四年三月三十一日をもつて旧制の荏原中学校を廃校としてゐることがわかる。また、後者すなわち常陽中学校と常陽高等学校は日本体育専門学校が茨城県土浦に移転したのを機に同専門学校のカンパス内に設置されている。中学校の方は昭和二十二年四月に開校、高等学校の方は翌二十三年四月に開校を見たが、日本体育専門学校が日本体育大学に昇格してから再び東京・深沢へ復帰するに及んで、二十六年三月に常陽中・高等学校は廃校の命運をたどることになった。

いっぽう、日本体育大学が東京・深沢へと移転してから入学志願者が急増したが、これによって日本体育会の学校経営事業は安定する。ために、本会は改めて中等学校の維持・経営に乗り出していった。その最初は桜華女子高等学校（昭和三十三年四月）、次いで柏日体高等学校（昭和三十五年四月）、さらに浜松日体高等学校（昭和三十八年四月）と続いている。その後、桜華女子高等学校は日体桜華女子高等学校と改称（昭和四十年四月）、荏原高等学校は日体荏原高等学校としてその校名を変更（昭和四十一年四月）している。

以上が学校法人日本体育会の維持・経営する新制高等学校の誕生の経緯である。すでに廃校となった常陽中学校と常陽高等学校を除けば、何れの高等学校もその節目々に記念史誌を刊行しているので、詳細な沿革に関する記述は当該高等学校の沿革史誌に譲らねばならない。したがって、それらの学校が刻んできた足跡についてはここでは点描するにとどめられた。いっぽう、常陽中学校および常陽高等学校の沿革についてはこれまで取り上げられることもなく、日本体育会の経営する学校でありながら、本会の歴史記述の「外」に置かれてきた。しかし、現実の問題として学校法人日本体育会に学籍簿が保管され、卒業証明書および成績証明書の発行がなされていることからすれば、たとえ廃校になって久しいとはいえ、本校の沿革をなぞっておく必要があるといわねばならない。しかし、五ヶ年に満たない期間しか存続していなかったために、どのようにして本校が運営され、生徒たちがどのようにしてキャンパス・ライフを楽しんでいたのかについて今に伝える資料はほとんどないに等しい。無論、その当時この学園に通学した卒業生からインタビュー資料を得る方法もあったが、当該の学校が廃校されていることもあって本校の資料収集を担当する委員を欠いたこと、他の委員がその作業に従事する時間が不足したことなどの理由から、残念ながら常陽中・高等学校の沿革に関しては点描するに留められている。

ともあれ、この第三編では学校法人日本体育会が維持・経営してきた高等学校の沿革をそれぞれ「章」として取り上げることしよう。なお、その叙述の順序は創立年の順とするが、常陽高等学校については廃校されていることから最後に取り上げることとし、さらに常陽高等学校との連動でもって設置されていた常陽中学校については常陽高等学校の沿革の項に含め、「常陽中学校・常陽高等学校の沿革」のタイトルの下で叙述すること、されている。

日体荏原高等学校



校歌

川路 柳虹 作詩
小村三千三 作曲

一、水清し 多摩の流れ
雲凌ぐ 富士の高嶺
いつも仰ぎて学びに励む
力ぞ溢れぬ 荏原の健児
荏原 荏原 荏原高校

March tempo 明るく

1. み ずきよし たまのながれ
2. あ ししげる めま ちひらけ
3. み ちとおく はる かなるも

く もしのぐ ふじのたかね い つもあお ぎ てまな びにはげ む ちから ぞあふ
そ らこがす くろきけむり な がきとし つ きくなん にからし おおし きこ
わ がのぞみ いまもゆる ころきた え よいの ちのかぎ り ほまれ はわれ

れ れぬ えば らの け けん じ } えば ら えば ら え ば らこう こう
ろ れえ ば らの け けん じ
ら にえ ば らの け けん

二、 蘆しげる 沼地拓け

天焦す 黒き煤煙

永き年月 苦難に克ちし

雄々しき心ぞ荏原の健児

荏原 荏原 荏原高校

三、 道遠く 遙かなるも

わが希望 今も燃ゆる

精神鍛えよ生命のかぎり

栄誉は吾らに荏原の健児

荏原 荏原 荏原高校